

第1回学校運営協議会（6月13日）

（学校経営計画について）

（進路結果・スマート進路について）

・データの蓄積とシステムの整理によって病院のカルテのように分かりやすくなるのであれば進めてもらいたい。

（アドミッションポリシーと特色枠について）

・特色枠については、入試方法が変わることへの不安が中学の現場にある。（中学校）

・面接など特色を前面にだしすぎること敬遠される可能性もあるのではないかと塾では分析している。教科の配点を変更したものであるとわかりやすい。（塾経営者）

・英語や国語に強い生徒がポリシーに合致するようにつくるのは一理ある。

・私立も公立に合わせた受験対応をしてくる。作文等もあるがシンプルなものが一番わかりやすい。

・理科、社会の科目の方が真面目な受験生は頑張るのではないか。

・大学受験の指導の中では大学が生徒をどれだけ大学生活で伸ばせるかを見ている。高校も「うちの学校に入ればこれだけ伸ばしますよ」といったアピールをしてもらうのが一番だと思う。（塾経営者）

・プレゼンテーション等の試験になると、行きたくても受験を敬遠する子もいるのではないか。平等にみるようなものにしてもらいたい。（保護者）

（普通科改革）

・（カリキュラムにおいて）狭山がモデル校として進めていく。探究の授業を受けただけでなく、こんな風が変わった、身に付くものがあったなどのことが発信できると良い。

第2回学校運営協議会（12月5日）

（教科書選定について）承認

（学校教育自己診断項目について）

- ・紙媒体での回収で、ほぼ全員が回答してもらっていることに驚いた。（委員長）

（特色枠について）

・（概要説明後、塾での動向について）希望については大きく変わることはないと予想している。私立についても微増という感じをもっている。（塾経営者）

- ・生徒保護者が混乱しないようにしてもらいたい。

（委員長）

（探究発表会について）

- ・生徒がいきいきと発表していることはよかった。

・修学旅行の民泊について詳細にききたい。（民泊の満足度の高さの報告を受けた上で）探究という意味で発表との関連はよかったのでは（JICA）

・中2の子どもが「狭山が変わる」という情報が回っていると聞き、普通科ではなくなるといった勘違いがあるようだ。そうではないことを説明してもらえたら。また、修学旅行の様子を聞いて安心した。（保護者）

第3回学校運営協議会(2月13日)

(学校経営計画の令和7年度自己評価案及び令和8年度計画案について説明)

(委員からの意見)

- ・近隣中学の動向（私立無償化による流出等）を踏まえ、狭山高校ならではの新学科の魅力を打ち出すことが重要である。（塾経営者・中学校校長）
- ・探究学習の題材として、JICA や民間企業の知見（チョコレートを題材とした国際理解教育教材等）を活用するなどして、社会とつながる機会を増やす取組みにしていきたい。

(JICA)

- ・新学科の名称（文理探究科）が中学生にとって抽象的なため、「地域を題材に、具体的にどのような力が身につくのか」を分かりやすく発信してほしい。（塾経営者）